

日本薬物動態学会 第21回評議員会・総会

日時：平成18年11月30日（木）

場所：江戸川区民総合区民ホール
A会場

開会の辞
(池田年会長)

議事録署名人選出(2名)

学会長の挨拶

平成17年度事業報告

および

平成18年度事業計画

お手元の資料をご確認ください。

学会賞、北川賞、奨励賞受賞者

推薦のあった学会賞2件、北川賞1件、奨励賞3件について、
選考委員会で選考、理事会の承認

● 学会賞 (2件)

池田敏彦 (三共(株)薬剤動態研究所)

後藤順一 (東北大学病院)

● 北川賞 (1件)

岩崎一秀 (ファイザー(株)中央研究所)

● 奨励賞 (3件)

加藤将夫 (金沢大学大学院)

川上 茂 (京都大学大学院)

楠原洋之 (東京大学大学院)

五十音順、敬称略

労賞：推薦申請なし

学会賞等選考委員会からのお願い

1. 積極的に学会賞、奨励賞、北川賞、および功労賞への候補者推薦を
来年度(平成19年)は
企業枠の奨励賞の推薦 募集！！
2. 推薦応募要領の一部変更

変更および確認箇所

奨励賞

候補者個人が主体となって行った業績、および応募題目(テーマ)に直接関連する業績から中心となる10編を、候補者が選択する。これら10編については(被引用件数とIFの記載を必須とする)。

特許の扱いについて

特許出願後に、学術論文として公表されている場合もあるので、特許の項に関連論文の有無を記載する項を加えた。

変更および確認箇所(2)

他の学会での受賞の扱いについて

基本的には或る程度の重複は
本学会の性格から予期されるこ
とであり、内容が優れ、本学会へ
の寄与が明確であれば、排除す
べきでない

評議員選出および資格に関する規定(抜粋)

3. 総務委員会は被推薦者の会員歴, 研究歴, 研究業績および本会の大会および学会誌への発表を基に新評議員候補者を選定し, 理事会に推薦する. 理事会は新評議員候補者を決定する.
 4. 評議員会は選定された新評議員候補者について全投票数の80%以上の賛成を 持って新評議員を選定する.
-

新評議員候補者(総務委員会・理事会承認済)

No.	氏名	所属・部署名	所属先役職	会員歴	推薦者
1	麻生 良典	中外製薬株式会社 研究本部前臨床研究部	部長	20年	大塚 峯三
2	家入 一郎	九州大学大学院 薬学研究院	助教授	11年	樋口 駿
3	大槻 純男	東北大学大学院 薬学研究科	助教授	5年	寺崎 哲也
4	桂 敏也	京都大学医学部附属病院 薬剤部	助教授 副薬剤部長	9年	乾 賢一
5	木村 敏行	北陸大学 薬学部	助教授	5年	山本 郁男
6	出口 芳春	帝京大学 薬学部	教授	13年	玉井 郁巳
7	埴岡 伸光	岡山大学大学院 医歯薬学総合研究科	助教授	11年	成松 鎮雄
8	馬場 隆彦	塩野義製薬株式会社 新薬研究所	部門長	20年	成松 鎮雄
9	布施 英一	協和発酵工業株式会社 医薬研究センター薬物動態研究所	所長	12年	杉山 雄一
10	三浦 慎一	三共株式会社 薬剤動態研究所	主席研究員	6年	池田 敏彦
11	宮田 康行	小野薬品工業株式会社 薬物動態研究所	所長	2年	杉山 雄一
12	湯川 栄二	第一薬科大学 臨床薬剤学	教授	15年	樋口 駿

会則第3章会員第9条

名誉会員は薬物動態学の発展に特に功績のあった者で、理事会が推薦し、評議員会の承認を得たものとする。名誉会員は年会費の納入を免除される。

名誉会員選考基準(細則から抜粋)

会則第5条に定める名誉会員の選考対象者は原則として65歳以上で次の各項目のいずれかに該当する者で、理事の推薦を受けた者とする。

1. 国内会員を名誉会員として選考する場合
 - 1) 会長経験者あるいは、理事、監事、または年会長経験者
 - 2) 学会賞並びにこれに準ずる賞の受賞者
 - 3) 本会の評議員として多年にわたり、本会の発展に功績のあった者

黒岩 幸雄 (推薦者 池田敏彦 理事)

昭和大学名誉教授、75歳

評議員歴20年、日本薬物動態学会監事

渡邊 淳 (推薦者 乾 賢一 理事)

愛知学院大学薬学部教授・薬学部長、名古屋市立大学名誉教授、70歳

評議員歴20年、日本薬物動態学会会長、年会長、理事、学会賞受賞

日本薬物動態学会・会則(抜粋)

【付則】 1. 本会の会則を改定するには、評議員会および総会の承認を得なければならない。

【第三章 会員】

第5条 本会の会員はつぎのとおりとする。

1. 正会員 2. 学生会員 3. 賛助会員 4. 名誉会員

第6条 会員は会誌の配布を受け、また学術集会および会誌に研究成果を発表できる。

第7条 正会員ならびに学生会員は本会の目的に賛同し、別に定める年会費を納める個人とする。

入会を希望するものは所定の申込用紙に必要事項を記載し、年会費を添えて、事務局に申し込まなければならない。

第8条 賛助会員は本会の目的に協賛し、本会の事業を援助するため、所定の賛助会費を納入する団体および個人とする。

第9条 名誉会員は薬物動態学の発展に特に功績のあった者で、理事会が推薦し、評議員会の承認を得た者とする。名誉会員は年会費の納入を免除される。

第10条 会員は次の場合には会員および役員の資格を喪失する。

1. 退会の届を出したとき 2. 会費を滞納し、かつ催促に応じないとき 3. その他本会則に違反し、あるいは本会の名誉および信用を甚しく傷つけ、評議員会で除名の決議がなされたとき

第11条 正会員及び学生会員は、別途定める事由に該当したとき、届出に基づいて会長が休会を認めることができる。

(以降、第11条(旧)は第12条(新)へ順次変更)

日本薬物動態学会・細則(抜粋)

付則 1.本会の細則を改定するには理事会の承認を得なければならない。

正会員及び学生会員の休会及び海外在住届に関する細則

第1条 「海外留学」「海外勤務等」「長期病気療養」「出産・育児休暇」の場合、2年間に限り休会を認める。別途定める「休会届」を提出し、総務委員会で審議し、承認する。

第2条 休会期間中の会費の納入を免除する。再入会をする時、休会期間中の会費の納入は必要としない。

第3条 休会期間中は「非会員」扱いとする。機関誌の配布はしない。年会、ワークショップへの参加は「非会員」扱いとする。評議員、学会賞各賞の応募の際、休会期間は会員期間と認めない。

第4条 「海外留学」「海外勤務等」で海外に在住する会員が、別途定める「海外在住届」を提出し「会費」を納入する場合、その間の会員資格は継続する。「海外在住届」は、事務局が取り扱い、総務委員会へ報告する。

第5条 その他、特別な措置を要するときは、別途、総務委員会で協議する。

(本件は、総会・評議委員会において「会則の改定」が承認されることが条件)

日本薬物動態学会・細則(抜粋)

付則 1.本会の細則を改定するには理事会の承認を得なければならない。

正会員及び学生会員の資格喪失に関する内規

第1条 正会員ならびに学生会員が、会費を滞納したとき、当該期間の学会誌 (Drug Metabolism and Pharmacokinetics)の送本が停止され、会費納入督促状が送付される。また、年会、ワークショップの参加は非会員扱いとなる。

第2条 正会員ならびに学生会員が「退会届」を提出する際、当該期間の会費を納入する必要がある。ただし、学生会員は1年間の「退会届提出猶予期間」が認められる。この猶予期間を越えて学生会員が「退会届」を提出するとき、猶予期間の会費を含む未納分会費全額の納入を必要とする。

第3条 正会員ならびに学生会員が、会費を3年間滞納したとき除籍され、会員の資格を喪失する。

第4条 除籍された元会員が再入会をするとき、当該期間会費、及び滞納会費の納入を要する。

第5条 第2条、第3条、及び第4条は理事会で審議し、これを承認する。

第6条 その他、特別な措置を要するときは、別途、理事会で協議する。

DMPK三賞の新設と受賞者

DMPKに掲載された論文について、次の三賞を新設

- 編集委員が選ぶ最優秀論文賞(原著論文)

(英名:DMPK Editors' Award for the Most Excellent Article in 200X)

- ベストダウンロード論文賞(総説、原著論文)

(英名:DMPK Award for the Most Frequently Downloaded Review (Original) Article in 200X)

- ベストサイテーション論文賞(総説、原著論文)

(英名:DMPK Award for the Most Frequently Cited Review (Original) Article in 200X)

★ それぞれの**第一位の論文の全著者を表彰**し、第一位から第三位の論文名と著者名をDMPKのニュースレター誌上にて公表。

DMPK三賞の新設と受賞者(2)

- **編集委員が選ぶ最優秀論文賞**：編集委員会が、その年に発行された原著論文の中で、最も優れた論文を選定し顕彰
- **ベストダウンロード論文賞**：総説、原著論文について、学会のHP及びJ-stageに掲載後12ヶ月間に最も多くダウンロードされた論文を選定し顕彰
- **ベストサイテーション論文賞**：発行年を含む5年間に最も被引用件数(ISI社データ)が多かった総説、原著論文を選定し顕彰

★DMPK 21巻5、6号に該当記事を掲載！

編集委員が選ぶ最優秀論文賞

2005年

Original

**Nishimura M, Yokoi T, Tateno C, Kataoka M,
Takahashi E, Horie T, Yoshizato K, Naito S.**

*Induction of Human CYP1A2 and CYP3A4 in Primary Culture
of Hepatocytes from Chimeric Mice with Humanized Liver.
Drug Metab. Pharmacokinet. 2005; 20(2): 121-126.*

DMPKへ"スタダ"コントロール"論文賞

2002年

Review

Fujita K, Kamataki T.

Genetically engineered bacterial cells co-expressing human cytochrome P450 with NADPH-cytochrome P450 reductase: prediction of metabolism and toxicity of drugs in humans. Drug Metab. Pharmacokinet. 2002; 17(1): 1-22.

Original

Kiyotani K, Fujieda M, Yamazaki H, Shimada T, Guengerich FP, Parkinson A, Nakagawa K, Ishizaki T, Kamataki T.

Twenty one novel single nucleotide polymorphisms (SNPs) of the CYP2A6 gene in Japanese and Caucasians. Drug Metab. Pharmacokinet. 2002; 17(5): 482-7.

DMPKベストデータコントロール論文賞

2003年

Review

Katsura T, Inui K.

Intestinal absorption of drugs mediated by drug transporters: mechanisms and regulation.

Drug Metab. Pharmacokinet. 2003; 18(1): 1-15.

Original

**Yamazaki H, Kiyotani K, Tsubuko S,
Matsunaga M, Fujieda M, Saito T, Miura J,
Kobayashi S, Kamataki T.**

Two novel haplotypes of CYP2D6 gene in a Japanese population.

Drug Metab. Pharmacokinet. 2003; 18(4): 269-271.

DMPKベストデータコントロール論文賞

2004年

Review

Ozawa S, Soyama A, Saeki M, Fukushima-Uesaka H, Itoda M, Koyano S, Sai K, Ohno Y, Saito Y, Sawada J.

Ethnic differences in genetic polymorphisms of CYP2D6, CYP2C19, CYP3As and MDR1/ABCB1. Drug Metab. Pharmacokinet. 2004; 19(2): 83-95.

Original

Nishimura M, Naito S, Yokoi T.

Tissue-specific mRNA expression profiles of human nuclear receptor subfamilies. Drug Metab. Pharmacokinet. 2004; 19(2): 135-49.

DMPKベストサイテーション論文賞

2005年 Review

Mizuno N, Sugiyama Y.

Drug transporters: their role and importance in the selection and development of new drugs. Drug Metab. Pharmacokinet. 2002; 17(2): 93-108.

Original

Horikawa M, Kato Y, Tyson CA, Sugiyama Y.

The potential for an interaction between MRP2 (ABCC2) and various therapeutic agents: probenecid as a candidate inhibitor of the biliary excretion of irinotecan metabolites. Drug Metab. Pharmacokinet. 2002; 17(1): 23-33.

基金振り分け後の預金状況 (2006.9.30現在)

DMPK出版基金 12,000,000円

三菱東京UFJ(定期)
4,000,000円

郵便貯金(定期)
8,000,000円

国際化対応基金 6,000,000円

三井住友(普通)
6,000,000円

薬物動態試験推進基金 5,000,000円

三菱UFJ信託(普通)
5,000,000円

若手研究者育成基金 7,000,000円

三菱東京UFJ(普通)
5,000,000円

みずほ本郷(普通)
2,000,000円

WS基金 6,500,000円

みずほ春日町(普通)
6,500,000円

一般会計 13,089,565円

三井住友(普通) 2,615,758円

みずほ本郷(普通) 9,608,487円

郵便振替口座 788,875円

現金 76,445円



内、200万円は、NL書籍化費用仮払用として使用予定

50万円はビジョン委員会主催シンポジウム補助金として使用予定

各種委員会紹介

常設委員会

- | | |
|------------------------|-------------------------|
| 1. 総務委員会 | 委員長 寺崎哲也(東北大学大学院) |
| 1) 会員増を考える委員会 | 委員長 横井 毅(金沢大学大学院) |
| 2) ビジョン委員会 | 委員長 鈴木洋史(東京大学附属病院) |
| ①若手研究者活性化委員会 | 委員長 池田敏彦(三共(株)) |
| 2. 財務委員会 | 委員長 小林 智(寿製薬(株)) |
| 3. 国際対応委員会 | 委員長 玉井郁巳(東京理科大学) |
| 1) ISSX支援委員会 | 委員長 辻 彰(金沢大学大学院) |
| 4. 編集委員会 | 委員長 千葉 寛(千葉大学大学院) |
| 1) NL編集委員会 | 委員長 山崎浩史(昭和薬科大学) |
| 2) DMPK電子投稿WG | 委員長 小澤正吾(国立医薬品食品衛生研究所) |
| 3) DMPKベストダウンロード賞を考える会 | 委員長 小田切優樹(熊本大学大学院) |
| 4) DMPK国際化委員会 | 委員長 川合良成(ノバルティスファーマ(株)) |

各種委員会紹介 (2)

新設および準常設委員会

- | | |
|-----------------------|--------------------|
| 1. 広報委員会 | 委員長 乾 賢一(京都大学附属病院) |
| 1) HP改革委員会 | 委員長 成松鎮雄(岡山大学) |
| 2. 教育委員会 | 委員長 横井 毅(金沢大学大学院) |
| 1) ショートコース委員会 | 委員長 岩崎一秀(ファイザー(株)) |
| 2) ベストポスター賞選考方法の検討委員会 | 委員長 池田敏彦(三共(株)) |

会長特命委員会

- | | |
|-------------------|--------------------|
| 1. 運営委員会 | 委員長 杉山雄一(東京大学大学院) |
| 2. 薬物動態試験推進委員会 | 委員長 池田敏彦(三共(株)) |
| 3. フォーラム委員会 | 委員長 山下伸二(摂南大学) |
| 4. 平成18年度学会賞選考委員会 | 委員長 山添 康(東北大学大学院) |
| 5. WS世話人会 | 委員長 岩崎一秀(ファイザー(株)) |

“薬物動態”誌 JSTの電子アーカイブに選定！

- **JST(科学技術振興機構)**では、平成17年度から、国内学協会の学術雑誌の**国際発信力強化と知的財産の保存を目的**として、**重要な学術雑誌を過去に遡って電子化(電子アーカイブ事業)**。
- 平成18年度、612誌から新たに65誌を電子アーカイブ対象誌として追加選定
- **薬物動態誌が、65誌(英文18, 和文誌22, 和欧混載誌25)の一つに選定**
- 電子化完了したものは、**J-stage**に順次登載・公開
(**薬物動態誌：来春公開予定！！**)

薬物動態の歴史・現状・将来／基礎・応用がわかる
大学院生からシニアな研究者まで

日本薬物動態学会発行 「創薬動態」 医薬品創製のための考え方と最新情報

2006年12月発行
B5版、524頁
定価3,000円

DMPKニューズレター
編集委員会 編集



部数限定発売

Physicochemical prop.
Pharmacokinetics
Drug Metabolism
PK-DM ETS
Animal Scale Up

ADME
TK
Pre formulation

PK in human
volunteers
PK/PD

Population
PK/PD

年会受付で
見本見れます
予約できます
購入できます

DMPK誌レクチャーノートの改訂＋書き下ろし
全60名の著者による創薬のための薬物動態情報

- 第1章 薬物代謝酵素：エステラーゼ／グルクロン酸抱合／P450／遺伝子多型／転写調節
- 第2章 薬物トランスポーター：PEPT／OAT／OATP／OCT／MRP／BCRP／活性調節
- 第3章 探索・開発動態：代謝・輸送協関／合成化学者との対話／Idiosyncratic toxicity
- 第4章 動態予測：ヒト代謝予測／in vitroからの予測／in silico予測
- 第5章 臨床動態：PGx／PPK／ブリッジング／PK/PD
- 第6章 統計質問箱：PK 解析／基質と阻害剤／重み付け／例数設計／用量比例性

お手元の資料21ページをご覧ください。

平成17年度一般会計
決算報告

平成19年度一般会計
予算案

日本薬物動態学会
平成17年度 収支計算書(一般会計)
(平成17年1月1日から平成17年12月31日まで)

勘定科目	平成16年度 決算額	平成17年度 予算額(A)	平成17年度 決算額(B)	差異 (A)-(B)	備考
(収入の部)					
会費収入	20,901,400	21,470,000	23,991,000	-2,521,000	
正会員会費	12,589,400	12,400,000	15,100,000	-2,700,000	正会員 1,887.5名
学生会員会費	1,032,000	1,800,000	1,696,000	104,000	学生 424名
賛助会員会費	6,800,000	6,800,000	6,700,000	100,000	74社 134口
購読会員会費	480,000	470,000	495,000	-25,000	31機関(内、2機関2年分入金)
事業収入	10,213,991	8,750,000	10,482,177	-1,732,177	
論文投稿料	2,814,000	2,200,000	2,506,000	-306,000	DMPK Vo.20No.1~No.6
別刷料	663,450	700,000	522,300	177,700	DMPK Vo.20No.1~No.6
バックナンバー売上	161,340	150,000	417,064	-267,064	海外販売29件等
広告掲載料	6,401,400	5,400,000	5,585,200	-185,200	DMPK Vo.20No.1~No.6
雑収入	173,801	300,000	1,451,613	-1,151,613	和解金、学術著作権機構、英文許諾抄録料、 過年度設計上分修正等
その他補助金等収入	0	0	3,900,013	-3,900,013	科学研究費補助金
利息	1,701	1,000	82	918	
小計	31,117,092	30,221,000	38,373,272	-8,152,272	
前期繰越金	4,564,620	4,564,620	2,769,324	1,795,296	
合計	35,681,712	34,785,620	41,142,596	-6,356,976	
(支出の部)					
事務局経費	1,892,592	2,230,000	765,866	1,464,134	
通信費	1,621,181	2,000,000	632,290	1,367,710	郵便、宅急便等(DMPK発送費は出版経費に計上)
振込手数料	33,565	30,000	28,900	1,100	
事務消耗品費	237,846	200,000	104,676	95,324	事務用品など
印刷費	566,230	800,000	553,693	246,307	年会資料等事務局で作成のため削減
人件費	2,227,400	2,180,000	3,525,520	-1,345,520	
編集局人件費	1,027,400	980,000	1,025,520	-45,520	編集アルバイト人件費
事務局人件費	1,200,000	1,200,000	2,500,000	-1,300,000	事務局長人件費
事務委託費	4,567,730	4,600,000	4,225,515	374,485	IMICへの業務委託費
編集経費	3,307,210	4,000,000	3,621,658	378,342	DMPK Vo.20No.1~No.6
出版経費	12,924,177	11,000,000	14,720,104	-3,720,104	DMPK Vo.20No.1~No.6(発送費¥1,872,806を含む)
会議費	2,806,425	2,700,000	1,978,898	721,102	理事会・各種委員会
学会賞等経費	1,204,235	1,200,000	1,333,183	-133,183	学会賞、功労賞、奨励賞
年会開催補助金	500,000	500,000	500,000	0	第20年会用
ワークショップ開催補助金	300,000	300,000	300,000	0	第19回ワークショップ
名簿作成費	0	0	0	0	
名簿関係送料	0	0	0	0	
雑費	1,447,560	50,000	466,285	-416,285	PC代、外為手数料等
雑支出	0	0	369,800	-369,800	過年度年会広告費返金等
基金繰入支出	0	0	5,000,000	-5,000,000	
予備費	0	400,000	0	400,000	
貸倒金	1,168,829	0	0	0	
小計	32,912,388	29,960,000	37,360,522	-7,400,522	
当期収支差額	-1,795,296	261,000	1,012,750	-751,750	
次期繰越金	2,769,324	4,825,620	3,782,074	1,043,546	
合計	35,681,712	34,785,620	41,142,596	-6,356,976	

平成18年5月12日

上記監査の結果、正確であることを認めます。

監事 大野 泰雄



監事 菅村 茂彦



貸借対照表
(平成17年12月31日現在)

借方		貸方	
科目	金額	科目	金額
現金	30,038	未払費用	4,335,513
小口現金	85,990	前受会費	8,000,000
普通預金(三井住友/麴町)	3,343,464	前受金	56,871
普通預金(東京三菱/春日町)	2,650,504	基金への繰入金	5,000,000
普通預金(みずほ/本郷)	4,051,143		
郵便振替	7,696,551	次期繰越金	3,782,074
未収入金	3,314,268	(前期繰越金)	2,769,324
前払費用	2,500	(当期収支差額)	1,012,750
合計	21,174,458	合計	21,174,458

財産目録
(平成17年12月31日現在)

資産の部		
現金	事務局小口現金	30,038
小口現金	編集局小口現金	85,990
普通預金	東京三菱銀行 春日町支店	2,650,504
普通預金	みずほ銀行 本郷支店	4,051,143
普通預金	三井住友銀行 麴町支店	3,343,464
郵便振替	東京貯金事務センター	7,696,551
未収入金		3,314,268
	投稿料 Vol.20 No.5~6	570,000
	別刷り料 Vol.20 No.5~6	86,000
	広告掲載料 Vol.20 No.5~6	1,950,400
	雑収入 科学技術振興機構許諾料(12月分)	4,200
	その他補助金 科研費Vol.20 No.6用資金	688,668
	購読会費 Vol.20分	15,000
前払費用	DMPK Vol.21 海外購読料外為手数料	2,500
資産合計		21,174,458
負債の部		
未払費用		4,335,513
	編集事務局人件費12月分	70,060
	編集経費Vol.20 No.6	655,200
	編集経費 通信費(12月分)	3,890
	出版経費Vol.20 No.6	2,705,684
	出版経費HP保守等	111,000
	印刷費	39,768
	年会仮受精算	552,968
	会議費	640
	事務局経費	196,303
	通信費	194,787
	消耗品費	1,516
前受会費	平成18年度会費	8,000,000
前受金	平成18年ハックナシ販売上	56,871
基金への繰入金	基金会計へ繰入	5,000,000
負債合計		17,392,384

日本薬物動態学会

平成17年度 収支計算書 (基金会計)

(平成17年1月1日から平成17年12月31日まで)

勘定科目	平成17年度 予算額(A)	平成17年度 決算額(B)	差異 (A)-(B)	備考
(収入の部)				
繰入金	0	5,000,000	-5,000,000	一般会計より繰入計上
当期収入合計	0	5,000,000	-5,000,000	
前期繰越金	0	0	0	
(支出の部)				
該当なし	0	0	0	
当期支出合計	0	0	0	
次期繰越金	0	5,000,000	-5,000,000	

平成17年12月2日

上記監査の結果、正確であることを認めます。

監事 大野 恭雄



監事 吉村 義信



貸借対照表 (基金会計)

(平成17年12月31日現在)

借方		貸方	
科目	金額	科目	金額
定期預金(東京三菱/本郷)	4,000,000	基金	12,000,000
郵便定額預金	8,000,000	次期繰越金	5,000,000
繰入金	5,000,000		
合計	17,000,000	合計	17,000,000

財産目録 (基金会計)

(平成17年12月31日現在)

資産の部		
定期預金	東京三菱銀行 春日町支店	4,000,000
郵便振替	定額郵便貯金	8,000,000
繰入金	一般会計より繰入	5,000,000
資産合計		17,000,000
負債の部		
該当なし		
負債合計		0

学会事務センター損金の取り扱いについて

平成16年度監査時の財務委員会：学会事務センターの預かり金から、第56回理事会交通費と会議費の合計¥579,800が支出されていたが、実際、学会事務センターからは、本費用の支払いがなく、この額が、損失であることが判明。

処理：16年度、「破産更正債権」として計上。17年度決算報告書作成の際に処理方法に問題があることが判明。調査結果に即し、資産を正常な状態に復します。貸倒損失が減額しました。

平成16年度決算時の問題点と修正策

問題点1:平成16年度損失が判明した時点で学会事務センター預かり金の清算は終了していた。

学会事務センターでは、現金勘定が存在せず、預かり金支出＝現金支出、預かり金勘定を締めた時点でマイナス計上されていたが、16年度収支計算書にこの分を貸倒金と計上したこと。

問題点2:貸借対照表が合わなくなり、「破産更正債権」として資産からマイナス計上したこと。

対処:2重のマイナス計上で、実際の資産から¥579,800減額となり、平成17年度に修正するため、**本金額を「雑収入」とし、貸借対照表から破産更正債権を削除。**

お手元の資料25ページをご覧ください。

平成19年度一般会計
予算案

日本薬物動態学会
平成19年度 収支予算書(一般会計)
(平成19年1月1日から平成19年12月31日まで)

勘定科目	平成17年度 決算額	平成18年度 予算額	平成19年度 予算額	備 考
(収入の部)				
会費収入	23,991,000	21,005,000	21,715,000	
正会員会費	15,100,000	12,800,000	13,000,000	平成18年度予算に準拠
学生会員会費	1,696,000	1,500,000	1,500,000	平成18年度予算に準拠
賛助会員会費	6,700,000	6,250,000	6,750,000	新規1社増口 73社(135口)
購読会員会費	495,000	455,000	465,000	31社
事業収入	10,482,177	9,500,000	10,450,000	
論文投稿料	2,506,000	2,500,000	2,500,000	
別刷料	522,300	650,000	450,000	別刷料減傾向
バックナンバー売上	417,064	150,000	300,000	ISSN経由購入数増加(55×30-手数料;¥150,000)のため増
広告掲載料	5,585,200	6,000,000	7,000,000	ハナ-広告分(¥95,000×12;約¥1,000,000)増
雑収入	1,451,613	200,000	200,000	学術著作権機構、英文許諾抄録料等
その他補助金収入	3,900,013			
利息	82	1,000	1,000	
小 計	38,373,272	30,506,000	32,166,000	
前期繰越金	2,769,324	2,769,324	4,564,620	
合 計	41,142,596	33,275,324	36,730,620	
(支出の部)				
事務局経費	765,866	1,835,000	900,000	
通信費	632,290	1,600,000	650,000	雑誌発送費用含まず
振込手数料	28,900	35,000	50,000	会費自動引落し開始により手数料増
事務消耗品費	104,676	200,000	200,000	
印刷費	553,693	500,000	600,000	平成17年度実績を反映
人件費	3,525,520	3,400,000	3,400,000	
編集局人件費	1,025,520	1,000,000	1,000,000	
事務局人件費	2,500,000	2,400,000	2,400,000	
事務委託費	4,225,515	4,500,000	4,800,000	契約額 ¥4,204,515 + ¥504,011(増額)
編集経費	3,621,658	3,300,000	3,800,000	電子投稿システム保守分(¥400,000)増
出版経費	14,720,104	11,800,000	11,300,000	雑誌発送費含む
ホームページ関係費			1,000,000	平成18年度決算より科目追加 HP改革費用(¥500,000含)
会議費	1,978,898	2,500,000	3,000,000	委員会増への対応
学会賞等経費	1,333,183	1,200,000	1,400,000	DMPK関連3賞追加への対応
年会開催補助金	500,000	500,000	500,000	
ワークショップ開催補助金	300,000	300,000	300,000	
公認会計士監査費用			315,000	平成19年度より外部監査実施のため
慶弔費			100,000	平成19年度決算より科目追加
雑費	466,285	50,000	100,000	
雑支出	369,800			
基金繰入支出	5,000,000			
予備費	0	400,000	400,000	
小 計	37,360,522	30,285,000	31,915,000	
今期収支差額	1,012,750	221,000	251,000	
次期繰越金	3,782,074	2,990,324	4,815,620	
合 計	41,142,596	33,275,324	36,730,620	

新 評 議 員

- 麻生 良典(中外製薬(株))
- 家入 一郎(九州大学大学院)
- 大槻 純男(東北大学大学院)
- 桂 敏也(京都大学医学部附属病院)
- 木村 敏行(北陸大学)
- 出口 芳春(帝京大学)
- 埴岡 伸光(岡山大学大学院)
- 馬場 隆彦(塩野義製薬(株))
- 布施 英一(協和発酵(株))
- 三浦 慎一(三共(株))
- 宮田 康行(小野薬品工業(株))
- 湯川 栄二(第一薬科大学)

評議員会に2年連続欠席の場合
除名になる場合があります。

五十音順、敬称略

新 名 譽 會 員

- **黒岩 幸雄**（推薦者 池田敏彦 理事）
昭和大学名誉教授、75歳
評議員歴20年、日本薬物動態学会監事
- **渡邊 淳**（推薦者 乾 賢一 理事）
愛知学院大学薬学部教授・薬学部長、
名古屋市立大学名誉教授、70歳
評議員歴20年、日本薬物動態学会会長、
年会長、理事、学会賞受賞

敬称略

日本薬物動態学会・会則(抜粋)

【付則】 1. 本会の会則を改定するには、評議員会および総会の承認を得なければならない。

【第三章 会員】

第5条 本会の会員はつぎのとおりとする。

1. 正会員 2. 学生会員 3. 賛助会員 4. 名誉会員

第6条 会員は会誌の配布を受け、また学術集会および会誌に研究成果を発表できる。

第7条 正会員ならびに学生会員は本会の目的に賛同し、別に定める年会費を納める個人とする。

入会を希望するものは所定の申込用紙に必要事項を記載し、年会費を添えて、事務局に申し込まなければならない。

第8条 賛助会員は本会の目的に協賛し、本会の事業を援助するため、所定の賛助会費を納入する団体および個人とする。

第9条 名誉会員は薬物動態学の発展に特に功績のあった者で、理事会が推薦し、評議員会の承認を得た者とする。名誉会員は年会費の納入を免除される。

第10条 会員は次の場合には会員および役員の資格を喪失する。

1. 退会の届を出したとき 2. 会費を滞納し、かつ催促に応じないとき 3. その他本会則に違反し、あるいは本会の名誉および信用を甚しく傷つけ、評議員会で除名の決議がなされたとき

第11条 正会員及び学生会員は、別途定める事由に該当したとき、届出に基づいて会長が休会を認めることができる。

(以降、第11条(旧)は第12条(新)へ順次変更)

第23回および第24回年会長について

年会長 およびワークショップ代表世話人は、
理事会の推薦に基づき評議員会の承認を得
て選出（会則第13条）

- 第23回年会長：

小田切 優樹（熊本大学大学院）

- 第24回年会長：

乾 賢一（京都大学附属病院）

敬称略

第23回（平成21年）ワークショップ 代表世話人について

- **馬場 隆彦 先生**
（塩野義製薬株式会社）

敬称略

第21回ワークショップについて

- ・日時：平成19年4月12日（木）～13日（金）
- ・場所：昭和大学・上條講堂
- ・主題： 医薬品開発を加速化・効率化するための
ボトルネック解消
（世話人代表：岩崎一秀、ファイザー）

- ・臨床開発の効率化

（臨床開発におけるボトルネックとその解消）

- ・創薬段階における加速化

（創薬段階におけるボトルネックとその解消）

基調講演：秋山 泰（産総研／東工大）

Richard Lalonde (Pfizer USA)

Vinod P. Shah (元FDA)

第1回ショートコースについて

- ・日時：平成19年4月11日(水)午後
- ・場所：昭和大学・薬学部講義室
- ・主題：代謝物の分離・同定・予測
 - ・ソフトイオン化法と構造解析
 - ・LC/MSの駆使した代謝物の解析手法
 - ・LC/MS・LC/NMR等を用いた代謝物の区増解析手法
 - ・In silico薬物代謝予測 —応用と限界—
 - ・In cerebroによる薬物代謝経路の推定

第22回年会および 8th ISSXについて

第22回日本薬物動態学会年会

- 日時：平成18年10月8日（月・祝日）
- 場所：仙台国際センター
- 内容：
 - 評議員会・総会
 - 授賞式
 - 受賞講演（奨励賞、北川賞、学会賞等）
 - 見所、聞き所
 - 懇親会（仙台国際センター 桜の間）

8th International ISSX Meeting

日時：2007年10月9日（火）～12日（金）

場所：仙台国際センター

内容：

- ・Short Course 6テーマ（10月9日）
- ・Symposium 12テーマ（10月10日～12日）
- ・Plenary Session 2テーマ（10月10日、11日）
- ・Poster Presentation（10月10日～12日）

Abstract Deadline: June 1, 2007

詳細は評議員会・総会資料、パンフレットを参照！！

学会賞各賞の
授与

DMPK三賞の
授与

平成18年度 学会賞各賞の授与式

学会賞受賞者

池田 敏彦 殿

(三共株式会社・薬剤動態研究所)

**「新規な薬物代謝反応および
代謝酵素機能に関する研究」**

学会賞受賞者

後藤 順一 殿

(東北大学・病院)

「薬物動態基盤解析法の構築と
その応用に関する研究」

北川賞受賞者

岩崎 一秀 殿

(ファイザー株式会社・中央研究所)

「新薬開発における薬物動態
研究の重要性」

奨励賞受賞者

加藤 将夫 殿

(金沢大学大学院自然科学研究科)

「トランスポーター・アダプター
分子群による薬物動態制御」

奨励賞受賞者

川上 茂 殿

(京都大学大学院薬学研究科)

「糖修飾リポソームによる細胞選択的
遺伝子ターゲティングシステムの開発」

奨励賞受賞者

楠原 洋之 殿

(東京大学大学院薬学系研究科)

「腎尿細管、血液脳関門において取り込み
および排出に働く薬物トランスポーターの
分子実体と機能の比較論的解析」

DMPK三賞各賞の授与式

編集委員が選ぶ最優秀論文賞

2005年

Original

**Nishimura M, Yokoi T, Tateno C, Kataoka M,
Takahashi E, Horie T, Yoshizato K, Naito S.**

*Induction of Human CYP1A2 and CYP3A4 in Primary Culture
of Hepatocytes from Chimeric Mice with Humanized Liver.
Drug Metab. Pharmacokinet. 2005; 20(2): 121-126.*

DMPKへスタウト論文賞

2002年 Review

Fujita K, Kamataki T.

Genetically engineered bacterial cells co-expressing human cytochrome P450 with NADPH-cytochrome P450 reductase: prediction of metabolism and toxicity of drugs in humans. Drug Metab. Pharmacokinet. 2002; 17(1): 1-22.

Original

Kiyotani K, Fujieda M, Yamazaki H, Shimada T, Guengerich FP, Parkinson A, Nakagawa K, Ishizaki T, Kamataki T.

Twenty one novel single nucleotide polymorphisms (SNPs) of the CYP2A6 gene in Japanese and Caucasians. Drug Metab. Pharmacokinet. 2002; 17(5): 482-7.

DMPKへ「スタウト」論文賞

2003年

Review

Katsura T, Inui K.

Intestinal absorption of drugs mediated by drug transporters: mechanisms and regulation.

Drug Metab. Pharmacokinet. 2003; 18(1): 1-15.

Original

**Yamazaki H, Kiyotani K, Tsubuko S,
Matsunaga M, Fujieda M, Saito T, Miura J,
Kobayashi S, Kamataki T.**

Two novel haplotypes of CYP2D6 gene in a Japanese population.

Drug Metab. Pharmacokinet. 2003; 18(4): 269-271.

DMPKベストデータレポート論文賞

2004年

Review

Ozawa S, Soyama A, Saeki M, Fukushima-Uesaka H, Itoda M, Koyano S, Sai K, Ohno Y, Saito Y, Sawada J.

Ethnic differences in genetic polymorphisms of CYP2D6, CYP2C19, CYP3As and MDR1/ABCB1. Drug Metab. Pharmacokinet. 2004; 19(2): 83-95.

Original

Nishimura M, Naito S, Yokoi T.

Tissue-specific mRNA expression profiles of human nuclear receptor subfamilies. Drug Metab. Pharmacokinet. 2004; 19(2): 135-49.

DMPK[®] ステーション ション 論文賞

2005年 Review

Mizuno N, Sugiyama Y.

Drug transporters: their role and importance in the selection and development of new drugs. Drug Metab. Pharmacokinet. 2002; 17(2): 93-108.

Original

Horikawa M, Kato Y, Tyson CA, Sugiyama Y.

The potential for an interaction between MRP2 (ABCC2) and various therapeutic agents: probenecid as a candidate inhibitor of the biliary excretion of irinotecan metabolites. Drug Metab. Pharmacokinet. 2002; 17(1): 23-33.

閉会の辞

(池田年会長)